

2020年度第2四半期決算

取締役 兼 執行役員 財務・グローバルマネジメント本部長
福永 彰宏

2020年11月5日
古河電気工業株式会社

将来情報についての注意事項

この資料に記載されております売上高及び利益等の計画のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、当社グループの各事業に関する業界の動向についての見通しを含む経済状況、ならびに為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因について、現時点で入手可能な情報をもとにした当社グループの仮定及び判断に基づく見通しを前提としております。

これら将来予想に関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性が内在しており、例として以下のものが挙げられますが、これらに限られるものではありません。

- ・米国、欧州、日本その他のアジア諸国の経済情勢、特に個人消費及び企業による設備投資の動向
- ・米ドル、ユーロ、アジア諸国の各通貨の為替相場の変動
- ・急速な技術革新と当社グループの対応能力
- ・財務的、経営的、環境的な諸前提の変動
- ・諸外国による現在及び将来の貿易規制等
- ・当社グループが所有する有価証券等の時価の変動

従いまして、実際の売上高及び利益等と、この資料に記載されております計画とは大きく異なる場合があることをご承知おき下さい。なお、当社グループは、この資料の本リリース後においても、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。

著作権等について

この資料のいかなる部分についてもその著作権その他一切の権利は、古河電気工業株式会社に帰属しており、あらゆる方法を問わず、無断で複製または転用することを禁止します。

古河電気工業株式会社

2020年度実績上半期実績－要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)

	FY19 H1	FY20 H1	前年比	主な増減内訳 (H1)
	a	b	b-a	
売上高	4,552	3,545	▲ 1,007	▲1,007億円(▲22%) 5ページ参照
営業利益	108	▲ 33	▲ 141	▲141億円
(率)	2.4%	▲ 0.9%	▲ 3.3	6ページ参照
持分法投資損益	▲2	▲ 11	▲ 9	
為替損益	▲ 8	▲ 4	+4	
経常利益	84	▲ 60	▲ 143	▲143億円
(率)	1.8%	▲ 1.7%	▲ 3.5	
特別損益	21	115	+94	・特別利益：+183 (47→230)
法人税等	42	34	▲ 9	・特別損失：▲89 (▲25→▲115)
非支配株主に帰属する 当期純利益	2	6	+4	
親会社株主に帰属する 当期純利益	61	16	▲ 45	▲45億円(▲74%)
(率)	1.3%	0.4%	▲ 0.9	
銅建値 平均	692	675	－	
為替 平均	109	107	－	

特別利益：
・固定資産処分益 (221 : Q1)

特別損失：
・製品補償引当金繰入額 (▲48 : Q1)
・事業譲渡損 (▲37 : Q1)
・新型コロナウイルス感染症による損失 (▲14 : Q2)
※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の
海外子会社が操業停止した期間に発生した
固定費を特別損失に計上

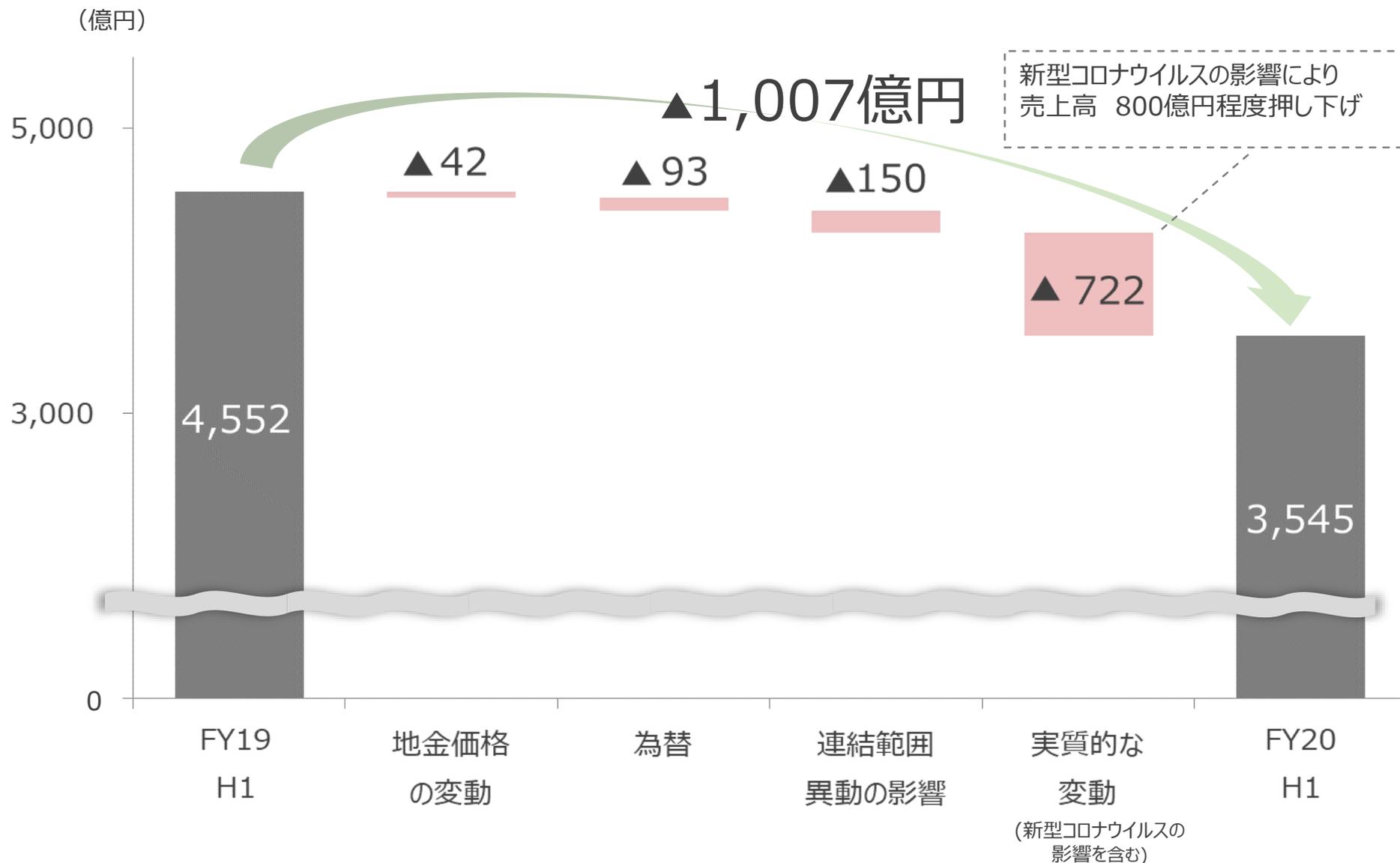
2020年度通期予想見直し－要約P/L

(単位：億円、円/kg、円/米ドル)

	FY19 実績	*FY20 前回予想	FY20 予想	前年比	前回予想比
	a	b	c	c-a	c-b
売上高	9,144	7,800	7,800	▲ 1,344	0
営業利益	236	50	50	▲ 186	0
(率)	2.6%	0.6%	0.6%	▲ 1.9	0
持分法投資損益	25	—	—	—	—
為替損益	▲ 10	—	—	—	—
経常利益	228	—	▲ 5	▲ 233	—
(率)	2.5%	—	▲ 0.1%	▲ 2.6	—
特別損益	80	—	104	+24	—
法人税等	118	—	—	—	—
非支配株主に帰属する 当期純利益	14	—	—	—	—
親会社株主に帰属する 当期純利益	176	—	30	▲ 146	—
(率)	1.9%	—	0.4%	▲ 1.5	—
銅建値 平均	682	634	697	(Q3-Q4前提：720)	
為替 平均	109	106	106	(Q3-Q4前提：105)	

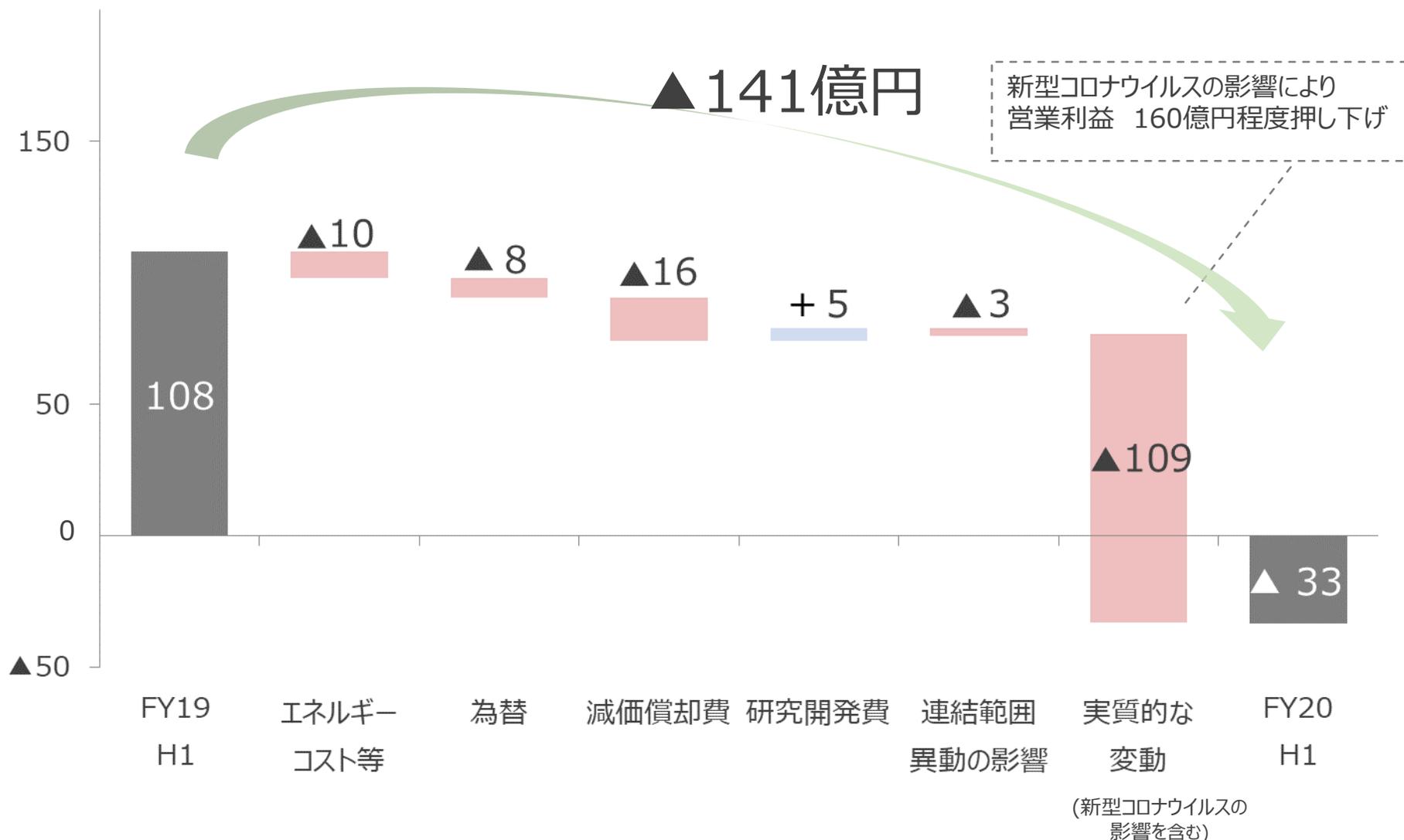
*2020/8/6公表

売上高の増減要因（前年比）



営業利益の増減要因（前年比）

(億円)



セグメント別売上高および営業利益

(単位：億円)

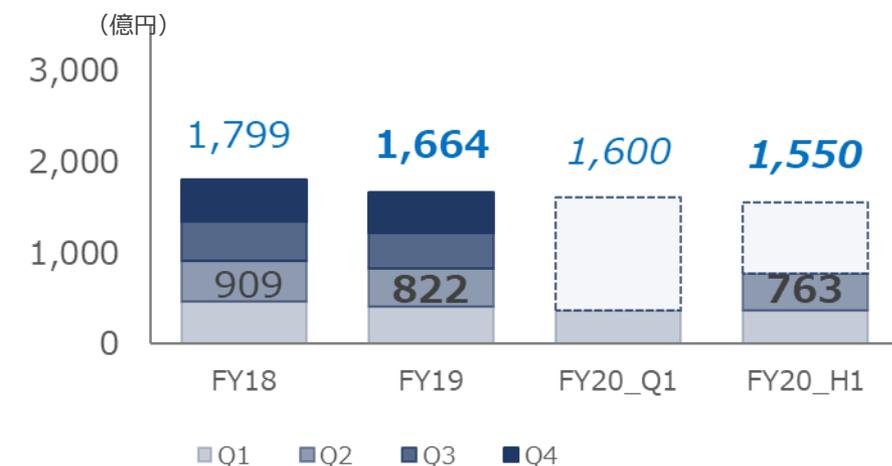
	H1			通期			前年比	前回予想比	
	FY19 実績	FY20 実績	前年差	FY19 実績	*FY20 前回予想	FY20 予想			
売上高	インフラ	1,379	1,222	▲ 157	2,809	2,650	2,550	▲ 259	▲ 100
	情報通信ソリューション	822	763	▲ 59	1,664	1,600	1,550	▲ 114	▲ 50
	エネルギーインフラ	557	459	▲ 98	1,145	1,050	1,000	▲ 145	▲ 50
	電装エレクトロニクス	2,544	1,753	▲ 791	5,093	4,050	4,150	▲ 943	+100
	自動車部品・電池	1,227	952	▲ 275	2,576	2,350	2,450	▲ 126	+100
	電装エレクトロニクス材料	1,317	800	▲ 516	2,517	1,700	1,700	▲ 817	0
	機能製品	586	524	▲ 62	1,159	1,050	1,050	▲ 109	0
	サービス・開発等	262	207	▲ 55	503	450	450	▲ 53	0
	連結消去	▲ 219	▲ 161	+58	▲ 420	▲ 400	▲ 400	+20	0
	連結合計	4,552	3,545	▲ 1007	9,144	7,800	7,800	▲ 1,344	0
営業利益	インフラ	6	▲ 17	▲ 22	17	10	▲ 10	▲ 27	▲ 20
	情報通信ソリューション	8	▲ 2	▲ 10	16	20	5	▲ 11	▲ 15
	エネルギーインフラ	▲ 3	▲ 15	▲ 13	1	▲ 10	▲ 15	▲ 16	▲ 5
	電装エレクトロニクス	67	▲ 30	▲ 97	148	10	30	▲ 118	+20
	自動車部品・電池	52	▲ 27	▲ 78	109	10	30	▲ 79	+20
	電装エレクトロニクス材料	15	▲ 4	▲ 19	39	0	0	▲ 39	0
	機能製品	36	22	▲ 14	75	50	50	▲ 25	0
	サービス・開発等	▲ 1	▲ 9	▲ 8	▲ 3	▲ 20	▲ 20	▲ 17	0
	連結消去	▲ 0	1	+1	▲ 1	0	0	+1	0
	連結合計	108	▲ 33	▲ 141	236	50	50	▲ 186	0

*2020/8/6公表

Intentionally Blank

1-(1) インフラ(情報通信ソリューション)

売上高 (事業部門：ファイバ・ケーブル、ファイテル製品、ブロードバンドソリューション)

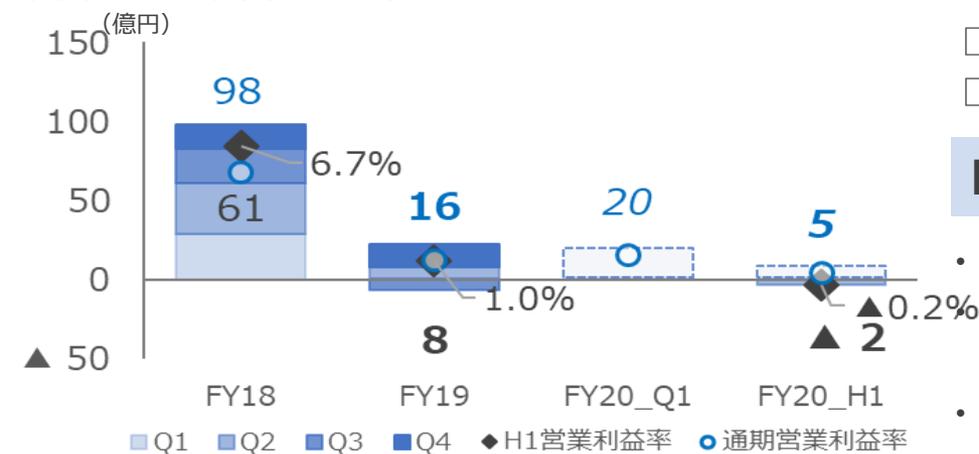


H1営業利益：前年比 ▲10億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 光ファイバ・ケーブルの厳しい競争環境は継続
- 北米の光ケーブル拠点は新型コロナウイルスの影響による操業低下
- 産業用レーザ、国内ネットワーク関連製品は新型コロナウイルスの影響による顧客の設備投資抑制もあり減収
- 新興国通貨（ブラジルリアル等）安の影響
- 償却費等の増加
- 北米の光ファイバ・ケーブル需要は堅調
- デジタルコヒーレント関連製品は供給能力向上

営業利益・営業利益率



青：通期 売上・営業利益
黒：H1 売上・営業利益

H2予想

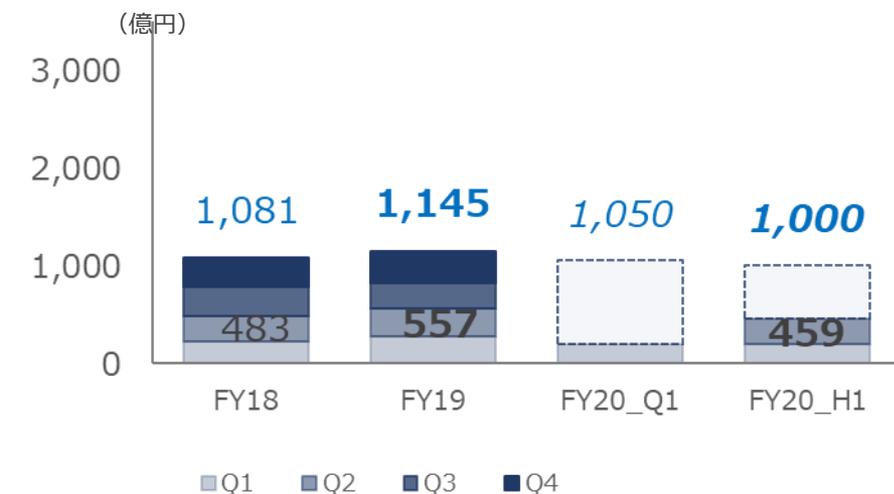
・：トピックス

- ・ 北米光ケーブル拠点は操業回復途上
- ・ 光ファイバは製品ミックスの変化に加え、価格低下の影響が継続
- ・ 産業用レーザは顧客の設備投資抑制の影響が継続
- ・ 国内ネットワーク関連製品はH1比では想定通り増収
- ・ 需要回復材料あるも、概ね効果発現は来期と予想

1-(2) インフラ (エネルギーインフラ)

売上高

(事業部門：電力、産業電線・機器)

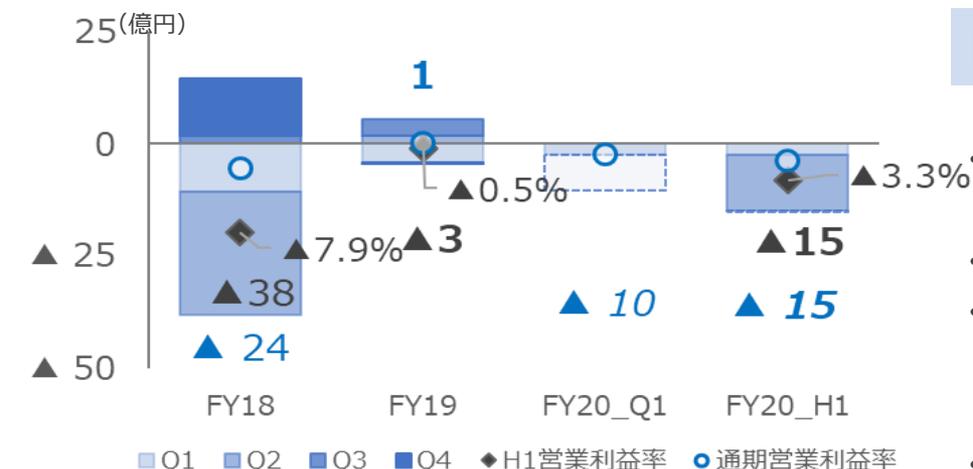


H1営業利益：前年比 ▲13億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 新型コロナウイルスの影響による、国内建販市場向け汎用線・部品の減収、および中国子会社の操業低下・一部地域での工事遅延の影響
- 新規材料採用に伴う評価費用等の一時的増加
- 国内再生可能エネルギー関連、海外地中線案件の進捗は順調

営業利益・営業利益率



青：通期 売上・営業利益
黒：H1 売上・営業利益

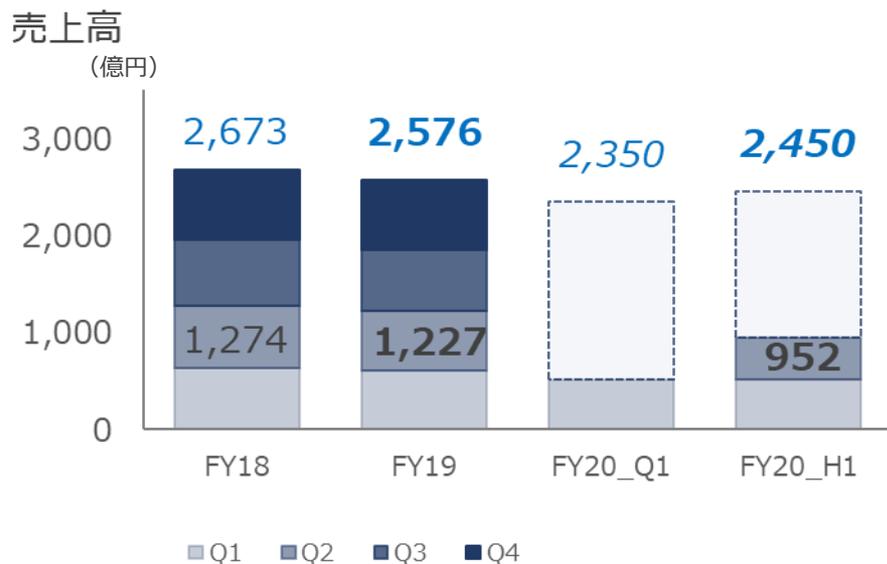
H2予想

・：トピックス

- 中国子会社の新型コロナウイルスの影響は概ね解消したが、工事遅延の影響が継続し前年並み
- 国内建販市場向け汎用線の減収は継続
- 国内電力事業はH1比で増収。国内地中線、再生エネルギー関連は一部の案件で実施時期に遅れはあるものの、通期見通しはほぼ想定通り
- 新規材料採用に伴う評価費用等の一時的増加は年度内継続

2-(1) 電装エレクトロニクス (自動車部品・電池)

(事業部門：自動車部品、電池)

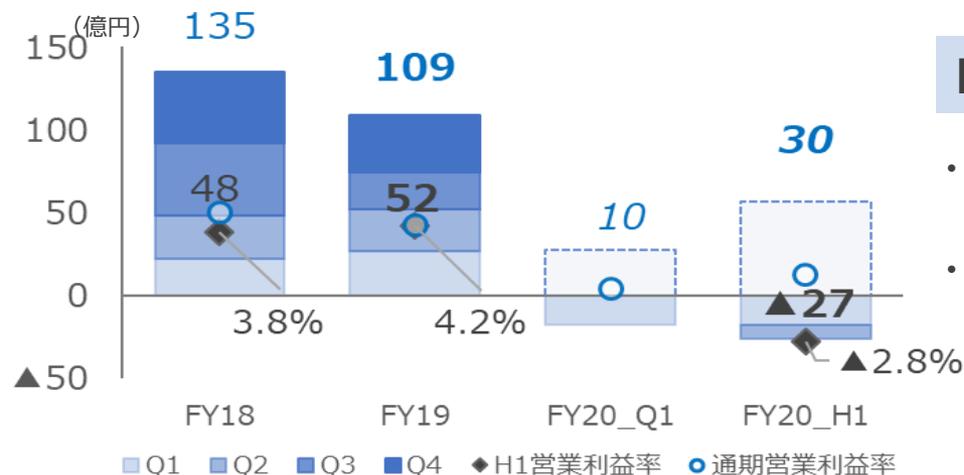


営業利益：前年比 ▲78億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 新型コロナウイルスの影響による海外子会社の一時操業停止および再稼働後の稼働率低下、輸送費・代替生産関連費用の増加
- 受注案件対応投資による設備償却費の増加
- 海外子会社の生産性改善効果等もあり電池は増益

営業利益・営業利益率



H2予想

・：トピックス

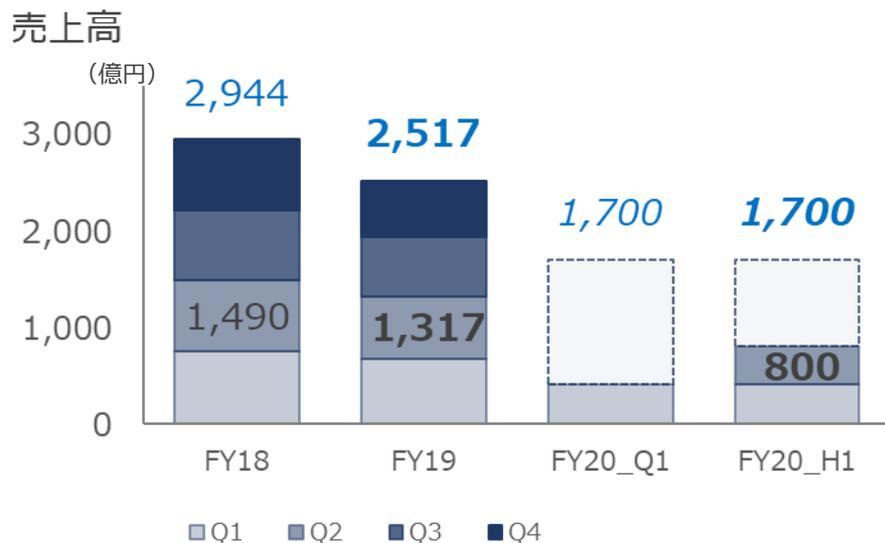
- 自動車部品の市場はH1に対して大幅に回復し、Q1時想定を上回る
- 電池は季節要因もあり増収

- ※ 多数の海外子会社において決算期が1-12月
- ※ 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一部の海外子会社が操業停止した期間に発生した固定費を特別損失に計上 (13億円)

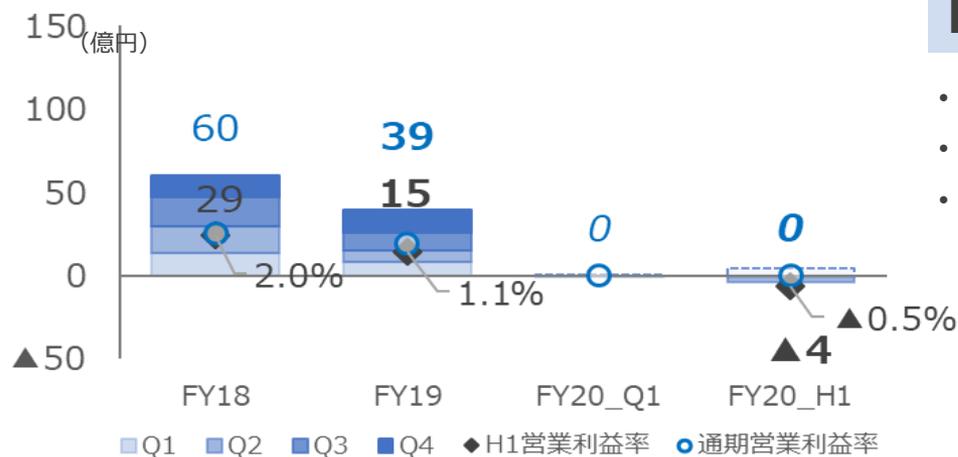
青：通期 売上・営業利益
黒：H1 売上・営業利益

2-(2) 電装エレクトロニクス (電装エレクトロニクス材料)

(事業部門：導電材、銅条・高機能材)



営業利益・営業利益率



青：通期 売上・営業利益
黒：H1 売上・営業利益

H1営業利益：前年比 ▲19億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 新型コロナウイルスの影響により自動車用途関連の製品を中心に減収
- 事業再編の影響（銅管事業譲渡）

H2予想

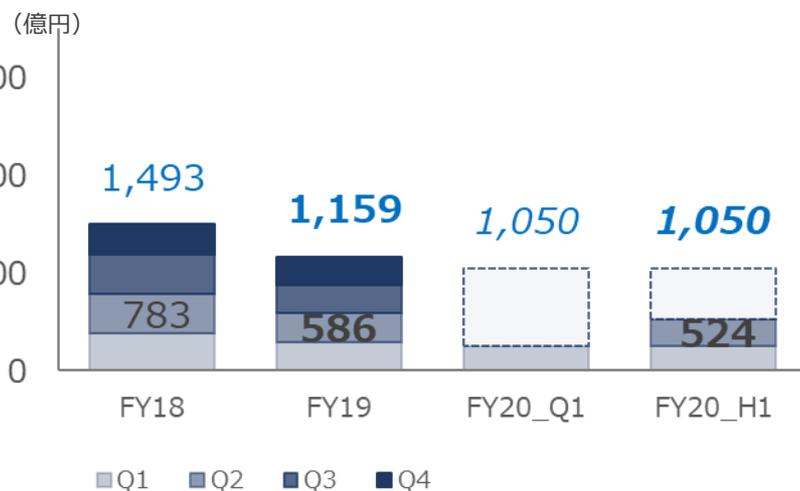
・：トピックス

- ・ 自動車用途関連の製品は底打ちし回復基調
- ・ 医療用途向けニッケル・チタン合金製品は堅調
- ・ 事業再編の影響（太物巻線事業譲渡）

3 機能製品

売上高

(事業部門：AT・機能樹脂、サーマル・電子部品、メモリーディスク、銅箔)

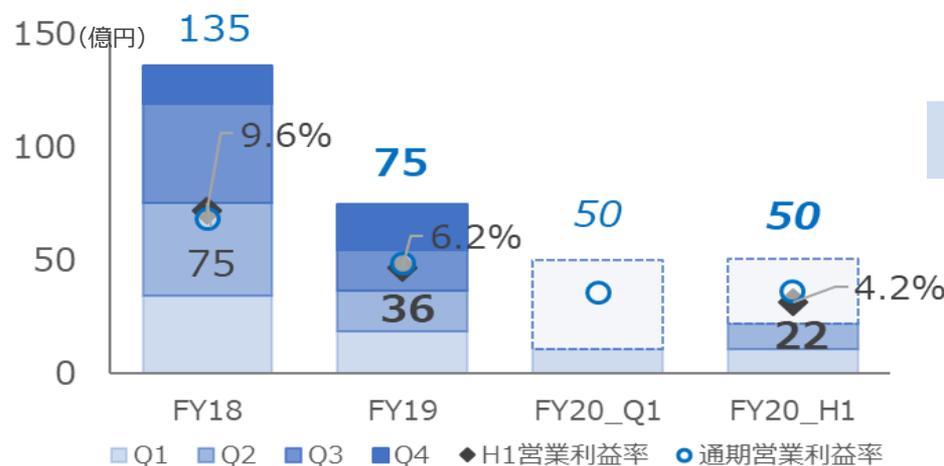


H1営業利益：前年比 ▲14億円

□：増益要因 ■：減益要因

- 新型コロナウイルスによる、国内民間建築工事の遅れや、海外自動車関連需要の落ち込みにより機能樹脂製品は減収
- 半導体製造用テープは、スマートフォン向け需要低迷や顧客在庫調整影響により減収
- 車載向け電池用銅箔の需要減少
- データセンタ市況は19年度Q4より本格回復。加えて在宅勤務・オンライン学習などの拡大により、世界的に需要旺盛

営業利益・営業利益率



青：通期 売上・営業利益
黒：H1 売上・営業利益

H2予想

・：トピックス

- ・ データセンタ関連需要は堅調
- ・ 電池用銅箔は需要回復
- ・ 機能樹脂製品は一部製品の需要が戻るも、国内民間建築工事関連需要の低迷継続
- ・ 半導体製造用テープは顧客在庫調整の影響

2020年度上半期実績 – 要約 B/S

(単位：億円)

	FY19Q4末	FY20H1末	増減
	a	b	b-a
流動資産	3,862	3,852	▲ 10
現金及び預金	544	818	+274
受取手形及び売掛金	1,925	1,576	▲ 349
たな卸資産計	1,159	1,184	+25
固定資産	4,084	4,012	▲ 72
有形固定資産	2,542	2,495	▲ 47
無形固定資産	161	188	+27
投資その他の資産	1,381	1,329	▲ 52
資産合計	7,946	7,864	▲ 82
流動負債	3,196	3,104	▲ 92
固定負債	2,019	2,085	+66
負債合計	5,216	5,189	▲ 26
株主資本	2,567	2,521	▲ 45
その他の包括利益累計額	▲ 164	▲ 141	+23
非支配株主持分	328	295	▲ 33
純資産合計	2,730	2,675	▲ 56
負債・純資産合計	7,946	7,864	▲ 82
有利子負債	2,511	2,875	+364
自己資本比率	30.2%	30.3%	+0.1
NET D/ELシオ	0.8	0.9	+0.0

現預金

手元流動性強化

274億円 増加
(対20Q1末 310億円減少)

たな卸資産

25億円 増加
新型コロナウイルスによる影響
将来売上計上予定のプロジェクト・工事案件等
(対20Q1末 39億円減少)
事業譲渡による影響
▲43億円

有形無形固定資産

20億円 減少
設備投資増減の影響
+24億円
事業譲渡による影響
▲22億円

NET有利子負債

90億円 増加
(1,967億円→2,057億円)

(単位：億円)

	FY19 H1 実績	FY20 H1 実績	前年比 増減	FY20 年間予想
	a	b	b-a	
設備投資額	262	182	▲ 80	470
減価償却費	142	158	+ 16	325
研究開発費	109	104	▲ 5	205

※ FY20年間予想変更なし

	FY18 実績	FY19 実績	FY20 予想	前年比
		a	b	b-a
自己資本比率	30.3%	30.2%	30%	▲0.2
NET D/レシオ	0.8	0.8	0.9	+0.1
事業資産営業利益率 (営業利益/事業資産*)	11.2%	6.1%	1%	▲5.1
ROE	12.0%	7.3%	1%	▲6.3

*事業資産 = 棚卸資産 + 有形・無形固定資産

ご清聴ありがとうございました。

Bound to  ***Innovate***

Appendix セグメント別注カポイント

情報通信ソリューション (インフラ)

- ✓ 競争環境激化の対策としてのコスト競争力改善と商品の差別化
- ✓ データセンタ向け製品群の拡充、拡販加速
- ✓ Society5.0実現に向けた次世代製品の開発

売上高			営業利益		
FY19実績	FY20予想	前年比	FY19実績	FY20予想	前年比
1,664	1,550	▲ 114	16	5	▲ 11

エネルギーインフラ (インフラ)

- ✓ 需要が急拡大する再生可能エネルギー市場向けの海底線などのケーブル製造能力の増強
- ✓ 電力基幹網更新案件需要を確実に取り込むための工事施工能力増強
- ✓ 建設工事の省力化・効率化に貢献する軽くて柔らかいアルミCVケーブルの拡販

売上高			営業利益		
FY19実績	FY20予想	前年比	FY19実績	FY20予想	前年比
1,145	1,000	▲ 145	1	▲ 15	▲ 16

自動車部品・電池 (電装エレクトロニクス)

- ✓ BCPに対応できるグローバルサプライチェーンの強化
- ✓ 電動化・自動運転化等CASE対応の軽量化需要の積極的取り組み
- ✓ 北米向けワイヤハーネス拡大に向けたアジアでの増産投資の適切なタイミングでの実行
- ✓ 高機能BSS*の量産開始 *鉛バッテリー状態検知センサ

売上高			営業利益		
FY19実績	FY20予想	前年比	FY19実績	FY20予想	前年比
2,576	2,450	▲ 126	109	30	▲ 79

電装エレクトロニクス材料 (電装エレクトロニクス)

- ✓ 耐熱無酸素銅条のパワー半導体向け、放熱部材向け拡販
- ✓ 電子機器の高機能化に対応したオリジナル合金の拡販
- ✓ 5G通信インフラ向けやサーバ用インダクタ向けに差別化した巻線の拡販
- ✓ ニッケル・チタン合金製品の医療器具向け需要を着実に取り込むための体制構築

売上高			営業利益		
FY19実績	FY20予想	前年比	FY19実績	FY20予想	前年比
2,517	1,700	▲ 817	39	0	▲ 39

機能製品

- ✓ データセンタ市場を中心に、新たな収益基盤となる次世代品の開発
- ✓ 新規市場開拓・新用途の提案
- ✓ さらなる生産性向上・市場対応力の強化

売上高			営業利益		
FY19実績	FY20予想	前年比	FY19実績	FY20予想	前年比
1,159	1,050	▲ 109	75	50	▲ 25